

□議員名：岡山明

1 須恵健康公園のトイレの環境整備について

論点	テニスコートのスタンドの裏面をくりぬいたような特色あるトイレであるが、耐震性は大丈夫か。
回答	あくまで建築確認申請上は、独立した鉄筋コンクリート造りのトイレである。耐用年数は50年であり、昭和56年以降に設計されている。よって、新耐震基準を満たしており、一定の耐震性は有している。

論点	このトイレの出入口には照明があるが、街灯がなく薄暗い。防犯上の問題はないのか。
回答	半地下タイプのトイレではあるが、入口に蛍光灯があり、中の空間にも照明灯がある。しかし、暗いと思う点もあることから、トイレを利用される方が今後も安心して御利用いただけるよう、トイレ内の照明については、LED照明への交換などを検討していきたい。

論点	このトイレは、非常通報ベルも防犯カメラも何もない状況である。防犯対策を含め、危機管理上、そういう設備を設置する必要があるのではないか。
回答	防犯上のブザーというのは、基本的には身障者トイレ、多目的トイレに設置するものだと考えている。今の半地下トイレには男子、女子のトイレはあるが、多目的のトイレはないので、そういう観点から非常通報ベル等は設置する予定にない。

論点	このトイレの市道側の外壁部分の一部が金網状であり、プライバシーの確保に問題がある。早期に不具合の解消を行うべきである。
回答	職員により、メッシュフェンスに目隠しシートを貼りつけ、現在は男子トイレ、女子トイレともにトイレの中の空間が外から見えないようにしている。

論点	地方自治法第244条に普通地方公共団体は、「1、住民の福祉を増
----	---------------------------------

	進する目的をもって、その利用に供するための施設を設けるものとする。２、正当な理由がない限り、住民が公の施設を利用することを拒んではならない。３、住民が公の施設を利用することについて、不当な差別扱いをしてはならない。」とある。この体育館は公の施設であり、誰もが必要な時に使える施設ではないのか。
回答	体育館は有料施設であり、原則使用料をお支払いいただいた利用者の方が体育館を利用されることが大原則であり、優先的だというふうに考えているので、現在の対応でいきたいと考えている。

論点	この体育館は公の施設、公共施設であるため、体育館の中のトイレは誰もが許可なく、いつでも必要な時に使えるものではないのか。また、公園からも直接入れる「入り口」もあるので、ぜひ解放していただきたい。
回答	保安上どうしても目の行き届かないところについて鍵をかけている。決して公園の利用者の差別をするものではなく、利用制限はしていない。

2 投票環境の整備について

論点	今年度は市内で小学校と厚狭高校・サビエル高校を合わせて４回の主権者教育に係る出前講座が開催されたようだが、政治や選挙に対する生徒たちの関心はどうであったか。
回答	今年度の主権者教育出前講座については、小学校で２回、高等学校で２回実施した。そのうち小学校１回と高等学校１回では、実際の投票所器材を使って、模擬投票を行い、投票体験をした。講座を受講した児童生徒からは、将来は選挙に行こうと思うという声が多くあり、その理由として、自分の１票で生活や社会が変わるかもしれないから、一人一人が選挙に行くことが大切だと知ったから、人任せにしたくないからなどの声があった。

論点	赤崎とおのだサンパークの期日前投票は同時期に開始されたが、投票者数の動向はどうなっているか。
回答	赤崎期日前投票所は、第１回目から、５９５人、３００人、５４３

	人、３３９人、３８７人、３３４人、５０７人となっており、平均すると４２９人で、選挙の種類によって増減はあるが、おおむね一定の方の利用が見られると考えている。また、おのだサンパーク期日前投票所の投票者数の推移が、第１回目から、７２３人、５４９人、７５２人となっており、平均すると６７５人である。こちらも選挙の種類によって増減はあるが、おおむね７００人前後、一定の方に来ていただいていると思っている。
--	---

論点	おのだサンパーク期日前投票においては、参議院、県会議員、衆議院という３回の選挙の中で、２日、４日、２日という日程の違いがあるが、こういった要因によって２日と４日に分かれているか、お聞きしたい。
回答	本市のおのだサンパーク期日前投票所は、令和４年に開始して、まだ３年、３回しか実施をしていない。また、市民にとって一番身近である市長選挙、市議会議員選挙では実施をしていないため、検証を行うためのデータが十分にそろっていないという状況である。したがって、実績をもう少し積み上げながら、その目的や手法、費用対効果などを確認しつつ、総合的な観点で調査研究をしていきたい。